

# 総合学習「宿泊学習」の実践

兼 樹 透

## 1. 総合学習「宿泊学習」の位置づけ

本学級では、従来ある生活単元学習、学級行事を検討、再構成し、総合学習として展開している。(初等教育53号参照) その中の一単元として「宿泊学習」がある。

## 2. 実践例「宿泊学習」

本単元は、ここ数年間年3回実施してきた。単元での活動を通して児童の持つ生活課題、家庭での指導課題を明確にし、指導に生かしてきた。最近三年間では、第1、2回の宿泊を校内で行い、第3回の宿泊を高学年児童の校外での宿泊行事での事前学習として位置づけ、校外施設を利用し、実施してきた。さらに本年度は、三回の宿泊学習の内容をそれぞれに整理し、発展させ実施した。

### (1) 単元設定の理由

○ 家庭から離れて学校に友だちと泊まることは、子どもたちにとって楽しみなことである。何日も前から一緒に泊まる友だちのことを気にしたり、荷物を確かめたりする。宿泊学習では、身辺処理、集団活動といった児童の生活上の課題を数多く設定することができ、それらを解決する必要感を児童に持たせやすい。具体的な体験の積み重ねにより、「自らの手で生活していこうとする子ども」を育てていくことができると考えている。

○ 宿泊学習に関する児童の実態を捉える視点として生活(身辺処理、態度)、集団(集団活動の意識、ルールの理解)、健康(安全な行動への意識、体調)を考えている。生活と健康に関することについては、毎年保護者に協力してもらい把握している。

課題としては、生活面では持ち物の取り扱い、入浴や睡眠に関すること、集団面では係や仕事分担、遊びに関するなどが考えられるが、個別に課題設定をしている。

○ 宿泊学習は年3回(6月、10月、11月)計画、実施している。6月は新しい集団の人間関係を密にし、進級した上級生が過去の経験を生かせるように配慮している。10月は活動内容をできるだけ児童に選択、決定させ、11月は校外の施設での宿泊など内容に発展をもたせるようにしている。また、1年生から6年生までのたて割りで2グループに編成することで、児童同志のかかわりの中で課題に取り組ませたい。高学年で参加する「海の学習」、「山の学習」、「修学旅行」など宿泊を伴う学習と関連した指導もこの単元の中で考えていきたい。

### (2) 指導目標

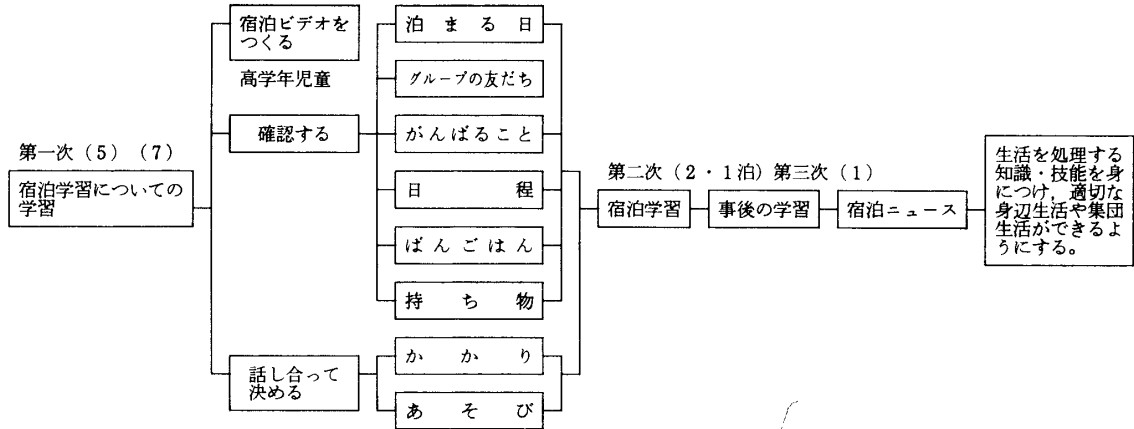
1. 家庭から離れて生活することにより、心理的な自立と生活を処理する知識、技能の定着、発展を図る。
2. 宿泊を伴う共同生活を通して、集団活動の楽しさとそのきまりを体得させるとともに交友関係を深める。

### (3) グループ編成

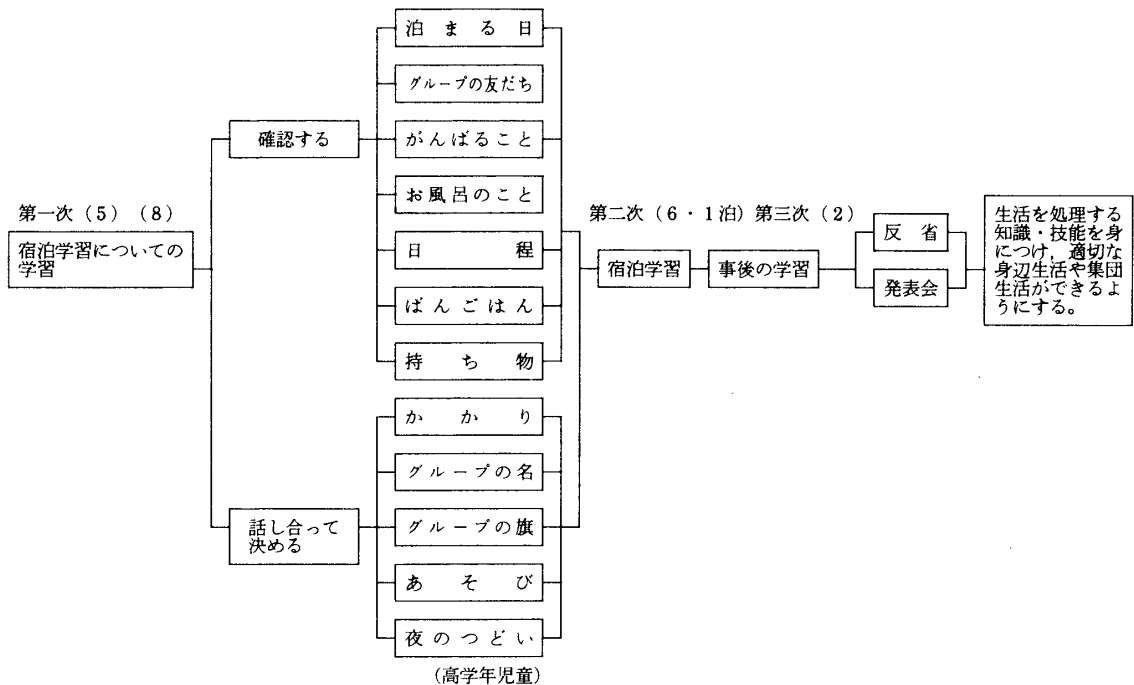
学級の児童数は、15名(男子9名、女子6名)で、学年も1年生から6年生に渡り、身辺処理の能力の実態も、ほとんど一人でできる児童から介助を要する児童まで様々である。そこで、宿泊学習を実施するにあたっては、第1回目は、高学年児童が、低学年児童のモデルになるような組み合わせで、第2、3回目は、高学年がリーダーとして活動できるよう児童同士の間関係に着目し、2グループに編成した。

#### (4) 指導内容と計画

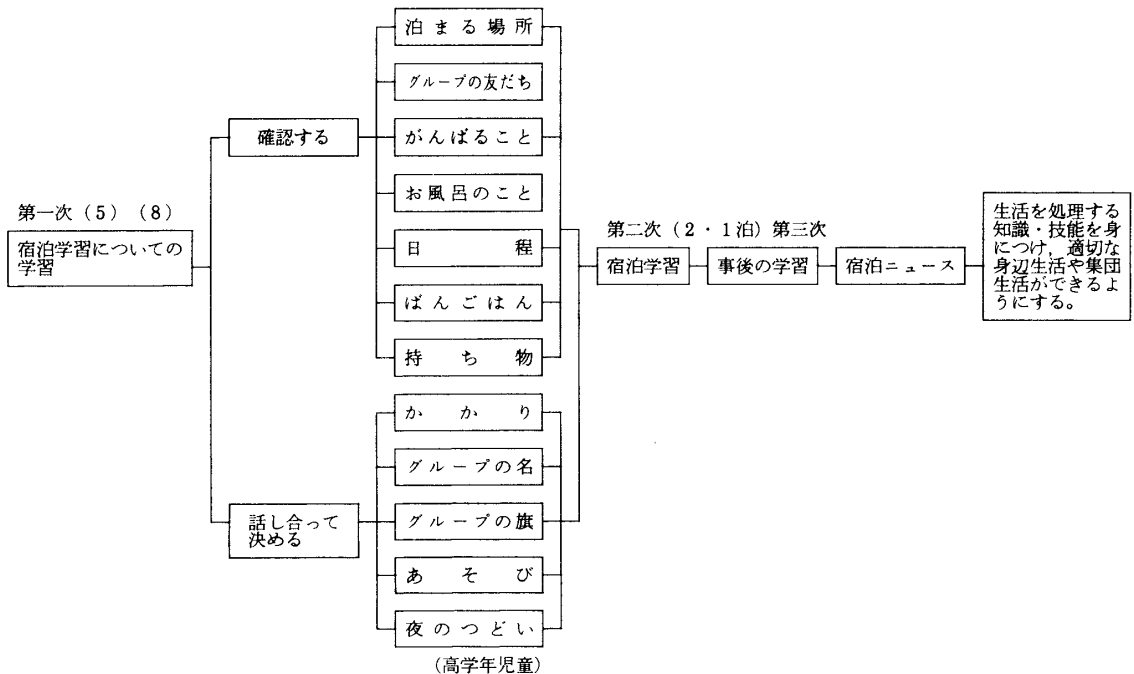
第1回指導内容と計画……8 (低・中) 10 (高) 時間と1泊



第2回指導内容と計画……13 (低・中) 16 (高) 時間と1泊



第3回指導内容と計画……8 (低・中) 11 (高) 時間と1泊



(5) 日程案

第1回目

	学 習 活 動	指導事項および留意点・（ ）は学習場所	準 備 物
14:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋のそうじ</li> <li>・着がえ</li> <li>・荷物調べ</li> <li>・お金集め</li> <li>・買い物相談</li> </ul>	(合同教室) <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物を持って合同教室に集合する。</li> <li>・合同教室を片づける。</li> <li>・ふだん着に着がえる。</li> <li>・荷物を出して、持ち物表を見てチェックしながらカゴに入れる。</li> <li>・児童係が、名簿にチェックしながらお金を集める。</li> <li>・買い物カードで各自の買う物を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物を入れるカゴ</li> <li>・名簿</li> <li>・お金を入れる箱</li> <li>・宿泊学習ノート</li> <li>・買いものカード</li> </ul>
15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーに買い物</li> </ul>	(スーパーおおうち) <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学用の靴で買い物に行く。</li> <li>・買い物カードを持つ。</li> <li>・スーパーでの注意               <ul style="list-style-type: none"> <li>■カードの品物だけを買うこと。</li> <li>■低学年を中心に指導者がつく。</li> </ul> </li> <li>・買ったものをできるだけ持って帰るようにする。</li> </ul> ※往復途上での交通安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナップサック</li> <li>・買いものカード</li> <li>・箱</li> </ul>
16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食の調理</li> <li>・夕食</li> <li>・あとかたづけ</li> </ul>	(家庭科教室) <ul style="list-style-type: none"> <li>・エプロンをつけ、手をきれいに洗うこと。</li> <li>・刃物・ガスなど、危険を伴うものの扱いについて注意。</li> <li>・包丁は指導者が管理できる数だけ使用する。(数本)</li> <li>・調理後、できあがるまではテレビなどを見る。</li> <li>・片づけは分担して全員にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気釜</li> <li>・なべ</li> <li>・ふきん</li> <li>・スプーン</li> </ul> ※その他は、家庭科室の備品
18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴(校内)</li> <li>・家庭に電話</li> </ul>	(浴室/教材室) <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴は男女別として、順番はくじやじゃんけんで決める。</li> <li>・入浴の準備は、ナイロン袋を使って全員する。</li> <li>・電話はできるだけ自分でダイヤルするようにさせる。</li> <li>・入浴と電話は同時に進行する。</li> </ul> <div style="text-align: right;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴指導 1名</li> <li>・電話援助 1名</li> <li>・合同教室 1名</li> <li>・フリー 1名</li> </ul>           ※指導者の分担         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイロン袋</li> <li>・着替の下着を入れる</li> <li>・パンツ</li> <li>・シャツ</li> <li>・タオル</li> <li>・扇風機</li> </ul>
19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜のつどい</li> </ul>	(合同教室, 中庭) <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に話し合っ、何をするか決めておくようにさせる。</li> </ul>	
20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝準備</li> <li>・ふとんを敷く</li> <li>・歯みがき</li> <li>・用便</li> <li>・お話(スライド)</li> <li>・1日の反省</li> </ul>	(合同教室) <ul style="list-style-type: none"> <li>・布団は、指導者が位置を決めて敷く。(男女別の配置)</li> <li>・シーツ、まくらカバーは自分で準備させる。</li> <li>・反省は1日の行事を質問してそれに答える形式で行う。</li> <li>・自分の布団にすわって、お話や反省をする。</li> <li>・就寝前の用便を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団</li> <li>・まくら</li> <li>・スライド</li> <li>・スライド</li> <li>・プロジェクトター</li> </ul>
21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝, 消燈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常夜燈は消さないでおく。</li> <li>・出口は1ヵ所(暗幕をはさんでおく)にしておく。</li> </ul>	(蚊とり線香)
6:00 6:30 7:00 7:30 8:00 8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床, 洗面</li> <li>・朝食</li> <li>・荷物の片付け</li> <li>・部屋のそうじ</li> <li>・平常の授業</li> </ul>	(合同教室) <ul style="list-style-type: none"> <li>・起床後、シーツ、まくらカバーを片づけ、体操服に着替える。</li> <li>・食事後、各自の荷物整理をする。</li> </ul>	

## 第2回目

	学 習 活 動	指導事項および留意点・（ ）は学習場所	準 備 物
10月11日 10:00	・荷物調べ ・お金あつめ ・お米あつめ ・買物相談	カエル…（合同教室） ごはん…（養護3組教室） ・荷物を持ってグループ毎に集合する。 ・荷物を出して、持ち物表を見てチェックしながらかごに入れさせる。 ・係の児童が、名簿にチェックしながらお金とお米を集める。 ・リーダーが中心となって、各自の買う物を決める。	・荷物をいれるかご ・児童名簿 ・計数盤 ・お金を入れる箱 ・買物カード
11:00	・スーパーに買物	（スーパーおうち）（フレスタ） ・グループ毎に行き先を決める。 ・買物カードを持って買いに行く。 ・財布、ナップサックは各児のものを使用する。	・買物カード ・笛
12:00	・給食	・グループ毎に食べる。	
13:30	・掃除	・いつもの掃除場所で清掃する。	
14:00	・遊び	・グループ毎に場所と内容を、事前に話し合っ決めて決める。	
15:00	・調理	（家庭科教室） ・刃物、ガスなど危険を伴うものの扱いについて注意する。 ・包丁は指導者が管理できる数だけ使用する。	・電気釜 ・鍋 ・スプーン ※その他は家庭科教室の備品
16:30	・入浴準備	・着替え袋に準備物を入れさせる。	
17:00	・入浴	（一乃湯） ・入浴時のマナーを守らせる。 ・お金（100円）は、各児で払わせる。 ・入浴後は普段着を着用させる。	
18:00	・夕食 ・後かたづけ	（家庭科教室） ・食事係の児童が中心となって、みんなで配膳させる。 ・後かたづけは、全員で分担して行う。	
19:00	・夜のつどい	（体育館） ・レクリエーション係（3組児童）が事前に話し合っ決めて活動内容を決めておく。	
20:30	・就寝準備 ・家庭に電話	男児…（合同教室） 女児…（養護3組教室） ・就寝準備と電話は同時に進行する。 ・シーツ、まくらカバーは、各児で準備させる。 ・就寝前の用便の確認をする。	・布団 ・まくら
21:00	・就寝	・3組の児童は反省会をもち、22:00に就寝する。	
10月12日 6:00	・起床・洗面	・起床後、布団を片付け、体操服に着替えさせる。	
7:00	・朝食	（家庭科教室） ・朝食はパン、ヨーグルト、100円までの飲物とする。	
8:00	・荷物の片付け ・反省	カエル…（合同教室） ごはん…（養護3組教室） ・係の児童を中心に荷物調べをしながら片付けさせる。 ・活動を振り返りながら、宿泊ノートに記入させる。	・買物カード
9:00	・発表会	（合同教室） ・ビデオを見ながら、したことを発表させる。	・宿泊学習を録画したビデオテープ
10:00	・解散	・各学級に戻って平常の授業	

### 第3回目

	学 習 活 動	指 導 事 項 お よ び 留 意 点	準 備 物
11月8日 12:30		合同教室 ・荷物を持って、各組ごとに集合する。(制服、制帽) ・荷物調べは午前中に各組で行う。 ・トイレと、お金のチェックをする。	
13:00 14:20	・バス停まで歩く ・広電バスに乗る。 ・出汐で赤バスに乗りかえる。 ・三滝西願寺前で下車	・歩く時は2人組で歩かせ、歩行の仕方や道路の横断の仕方に気をつけさせる。 ・バスの中では静かにさせる。 ・バス賃は各自で払わせる。 ・緊急時のために車を1台用意し、一緒に走る。	
15:30	・入所式	・グループ毎に並んで話を聞く。	
15:50	・着がえ ・荷物の整理 ・寝具の準備	・部屋のドアに顔写真と名前のカードをはっておく。 ・体操服(長袖、長ズボン)に着がえさせる。 ・各部屋のロッカーを使用して荷物の整理をさせる。 ・寝具の準備はできるだけ児童にさせる。 ・枕カバー、シーツ、もうふはそれぞれの係の児童がグループの児童に配る。	
16:30	・ウッドペンダントをつくる。	・グループ毎に集まって作る。 ・作品例を見せて、つくりたいという意欲を高める。	・ひも(1m) ・サンドペーパー ・ポスターカラー ・水
17:30	・夕食	・食事係の児童はテーブルをふく。 ・配膳は高学年児童が中心となってみんなで行う。 ・後片付けはみんなでさせる。	・テーブル用 ぞうきん
18:30	・キャンドルサービス	・指導者が1名火の女神に扮する。 ・キャンドルサービスの内容はレクリエーション係の児童(3組)が事前に考え、準備しておく。 ・司会もレクリエーション係の児童が行う。	・ローソク (大・中) ・衣裳 ・カセットデッキ ・テープ ・レクリエーション用具
19:30	・星の観察	・屋上で行う。 ・寒いので防寒着を着用させる。	・天体望遠鏡
20:00	・入 浴 ・電 話	・入浴時のマナーを守らせる。 ・着がえ袋の使用の徹底をはかる。 ・入浴後、後片付けが終わった児童から家に電話をさせる。 (ホールの公衆電話使用)	・児童名簿
21:00	・就 寝	・就寝前の歯みがきと用便の確認をする。 ・2組、3組の児童は反省会をもち、22:00に就寝する。	
11月9日 6:30	・起 床	・起床後布団を片付け、体操服に着がえさせる。 ・係の児童はシーツ、もうふ、枕カバーを回収する。	
7:30	・朝のつどい	・班長が前に出て校旗とグループ旗を掲揚する。 ・ラジオ体操をする。	・校旗 ・グループの旗 ・ラジオ体操テープ ・カセットデッキ
8:00	・朝 食	・朝食後荷物の後片付けをさせる。	・テーブル用ぞうきん
9:00	・フィールドアスレチック	・おやつを準備をし、トリムの前に飲ませる。 ・体育館でトリムを行う。	・おやつ用 ジュース
10:00 10:30	・着がえ ・退所式	・制服に着がえさせる。 ・少年自然の家の先生のお話を聞き、挨拶をする。	
11:00	・退 所 ・バス停まで歩いて赤バスに乗る。 ・県庁で解散	・2人組で歩かせる。 ・県庁で解散後の帰路については事前に保護者と連絡をとって決めておく。	

# 宿泊学習予備調査

年月日  
 広島大学附属東雲小学校 養護学級

総合学習「宿泊学習」を実施するにあたって、子ども達の実態をより正確にとらえ、学習をよりスムーズに行うために予備調査をしたいと思います。

以下の「宿泊学習事前調査表」にご記入の上、月 日 日までにご提出ください。

## 宿泊学習事前調査表

氏名	年 男 女		該当項目に○をしてください。 各欄の下に具体的な様子もお書きください
朝	目覚め	(ア) 一人で起きる (イ) 1回でおきる (ウ) 何回もおこす	
の	床離れ	(ア) よい (イ) ふつう (ウ) 悪い	
	布団のしまつ	(ア) 自分でする (イ) 手伝えばする (ウ) しない	
	洗面顔	(ア) 必ず洗う (イ) いわれたらする (ウ) 洗わない	
習	はみがき	(ア) 必ずみがく (イ) 時々みがく (ウ) みがかかない	
	着替え	(ア) 一人でする (イ) 手伝えばする (ウ) 着せてやる	
	ねまきのしまつ	(ア) 一人でする (イ) 手伝えばする (ウ) してやる	
慣	(はみがき、洗面の様子などお書き下さい。)		
食	好き嫌い	(ア) ある (イ) ない	好きなもの
	嫌いなもの		嫌いなもの
	食間	(ア) 毎日する (イ) 時々する (ウ) しない	
分	朝	(ア) 多い (イ) ふつう (ウ) 少ない	
	夕	(ア) 多い (イ) ふつう (ウ) 少ない	
事	風呂	(ア) 好き (イ) 嫌い	
	身体洗い	(ア) 一人で洗える (イ) 手伝う (ウ) 洗ってやる	
	頭洗い	(ア) 一人で洗える (イ) 手伝う (ウ) 洗ってやる	
浴			

## (6) 宿泊学習予備調査表

宿泊学習に伴い、以下の様な調査表を家庭で記入してきてもらい、宿泊学習の予備資料とした。

排便	(ア) 近い (イ) ふつう (ウ) かない	
大便の時期	(ア) 毎日 (イ) ( ) 日おき (ウ) 便秘がち	
ペーパーの使用	(ア) 朝 (イ) 昼 (ウ) 夜 (エ) 不定期	
使用後の手洗い	(ア) 適切に使える (イ) いえは使える (ウ) ふいてやる	
	(ア) 洗う (イ) いえは洗う (ウ) 洗わない	
(介助が必要な場合、その方法もお書きください。)		
はみがき	(ア) 毎日する (イ) 時々する (ウ) しない	
寝つき	(ア) よい (イ) 悪い	
眠り	(ア) 浅い (イ) ふつう (ウ) 深い	
寝ごと	(ア) しばしばいり (イ) 時々いり (ウ) いわない	
夜尿	(ア) しばしばある (イ) 時々ある (ウ) ない	
夜間の便所	(ア) 毎晩いく (イ) 時々いく (ウ) いかない	
	(一人で行く・起こされていく)	
電灯	(ア) つける (イ) 豆電球 (ウ) 消す	
寝・起きの時間	(ア) 就寝 ( ) 時頃 (イ) 起床 ( ) 時頃	
日頃の健康状態		
胃腸の状態	(ア) 強い (イ) ふつう (ウ) 悪い ( )	
風邪ひき	(ア) あまりひかない (イ) ふつう (ウ) ひきやすい	
疲労の状況	(ア) 疲れやすい (イ) ふつう (ウ) 疲れない	
疲労時	・寝汗・夜泣き・夜尿・興奮・不眠・食欲減・ひきつけ	
服用している薬	・薬名 ( ) ・服用時 ( )	
体調の変化	(ア) 自分でいう (イ) 時々いう (ウ) 訴えない	
食欲コントロール	(ア) 自分でできる (イ) いえはできる (ウ) できない	
家庭での役割		
仕事(毎日の役割)	(ア) している・仕事 ( ) (イ) していない	
手伝い	(ア) いつもする (イ) 時々する (ウ) しない	
その他の		
・とくに注意しない	○かかりつけの医療機関 ( ) TEL ( )	
ければならない	主治医氏名 ( )	
事柄があれば、	○緊急時連絡先 ( ) TEL ( )	
記入して下さい。		

## (7) 指導の実際

以下に、三回の宿泊学習における特徴的な事柄を記す。(日程案参照)

### ①第1回宿泊学習

第1回目の宿泊学習では、学級児童を2グループにわけ、1グループずつ日をかえて宿泊を行った。  
ア、宿泊ビデオづくり

第一回目の宿泊学習を行うにあたり、高学年児童(高学年組5・6年生)が、高学年としての意識をより高めて行くために、「低学年児童(特に1年生)に教えてあげる。」という設定のもとに、高学年児童出演で、宿泊学習の流れを示すためのVTRを作成し、学級全体の場で発表した。

イ、宿泊学習ノート(資料参照)

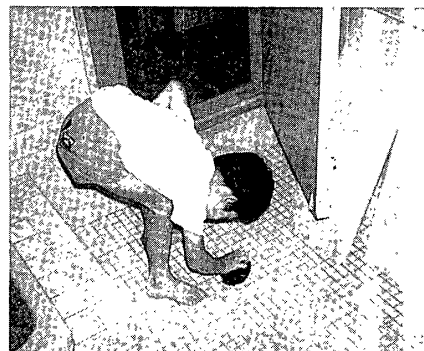
学習を進めるにあたっては、児童の理解力、表記の実態に応じた三段階の「宿泊学習ノート」を用意した。学習ノートは、約2週間にわたる単元の中で使用するもので、児童の関心の持続、使用頻度の面から考え、児童の喜ぶ「本」の体裁でB5版の大きさとし、背ばりをつけて製本した。用紙は上質紙を使うことで、消しゴムで誤りを修正したり、いろ鉛筆で着色しやすいようにした。

同じグループの児童を書き込む欄には、児童の顔写真シールが貼れるようにし、表現にはイラストを多用した。

この「宿泊学習ノート」は、第1回目だけではなく、内容を変え、第2回、第3回の宿泊学習でも使用した。

ウ、係活動

宿泊学習のなかで、どの児童のも活躍の場が保障されていなければならない。また活躍するためには、わかりやすい活動が用意されていなければならない。そこで児童に、「はんちょう」「おこめあつめ」「にもつしらべ」「そうじき」「ふろあらい」「じゅんび(調理器具の準備)」の7つの係を提示し、各グループごとに決定させた。



〈ふろあらい〉

エ、買物・調理

買物は、学校近くのスーパーマーケットに行った。買物をするものは児童に決めさせ、写真カードを手渡し、できるだけ自分で買物ができるようにさせた。

支払いも、一人でさせるようにした。

夕食は、調理のしやすさから、「カレーライス」「ツナサラダ」「フルーツポンチ」と指定した。このメニューは過去何度も繰り返しているもので、高学年児童は、材料、用具など作るのに必要なものがよくわかっており、自信を持って作れる献立でもある。



〈かいもの〉

オ、遊び

遊びは、児童のリクリエーションにも発展していくものであるが、第1回ということもあり、児童のよく知っている遊び、「はなび」「やきゅう」「はんかちおとし」「かくれんぼ」の四つを提示し、グループごとに2つを決めさせた。

カ、宿泊ニュース

2グループの宿泊学習が終了後、宿泊学習を振り返るために各クラス(低学年組・中学年組・高学年組)で、宿泊学習の写真をもとに、宿泊学習のニュースづくりを行った。

### ②第2回宿泊学習

第2回目の宿泊学習は、活動のダイナミック化を計るため、2グループ同時に実施した。また活動時間も午前中から十分にとり、活動内容も第1回目の宿泊学習をもとに、児童の自主性、主体性を育てるため、児童だけで決定し、活動できる場面を多く設定した。

グループ意識を高めるために、宿泊学習中の活動はグループで活動することとした。

また、第3回目への発展も考え公共の施設（銭湯）を利用した。

ア、がんばること

宿泊学習を行うにあたり、今まで児童にとってわかりにくかった目標を整理し、

- ・にもつのじゅんぴはじぶんでしよう
- ・あとかたづけは、きちんとしよう
- ・かかりのしごとをがんばろう
- ・ひとりでからだをあらおう

と具体的なものとし、自己評価できるように自己評価表を作り、自己評価出来るようにした。

イ、係活動

係活動は、銭湯を利用することもあるが、第1回目の係から、「ふろあらいがかり」をなくし、公共の施設利用のための前段階として「じゅんぴがかり」を「しょくじがかり」に変更した。また、新たに「レクリエーションがかり」をつくり、高学年組児童が、他の係と兼任する形で、行うようにした。

ウ、グループ名・グループ旗

それぞれのグループ意識を高めるために、グループ名を児童に決定させた。話し合いにより、「ごはん」「かえる」というグループが決定した。

グループ名決定後、各グループでのグループ旗をつくった。

エ、レクリエーション係

宿泊学習におけるレクリエーションを高学年児童が担当することにし、学級（高学年組）で事前に準備した。

過去の学習の経験から、話し合いで「○×クイズ」「フォークダンス」をすることになった。これに加え、教師が「フルーツバスケット」というゲームを指導し、3種類のレクリエーションをすることになった。

高学年組児童6人が、二人ずつの組になり、それぞれ一つずつのレクリエーションを受持ち、準備をした。「○×クイズ」では、○と×の札を作り、クイズを考え、空かんなどを利用して優勝者用のトロフィーを作った。「フォークダンス」担当の



〈ゲームをする〉

児童は、休憩時間に音楽担当の教師にカセットテープを借りに行き、踊りを教わった。「フルーツバスケット」担当の児童は、児童の人数分の果物カードを用意し、ゲームの仕方、説明の仕方を練習した。

準備できた後、学級（高学年組）でリハーサルを行い、宿泊学習に臨んだ。

オ、買物

夕食材料、朝食の購入の店もグループ毎に決めさせ、高学年児童先導で買物に行った。買物終了後、グループごとに給食を食べた。

カ、遊び

午後からの遊びも内容、場所を各グループに決めさせ、遊びに出かけた。それぞれ馴染みのある公園を選び、鬼ごっこや、野球、アスレチックなどを行った。



キ、入浴

入浴は、学校近くの銭湯を利用した。ここでは男女を意識させるために、男女別グループにし、それぞれの高学年児童を先導させた。

着替えにあたっては、着替え袋を用意させ、校外に宿泊に行くときと同様の手順で、着替えさせた。

ク、夜のつどい

体育館で、レクリエーション係の司会で、あらかじめ係が計画しておいた通りに活動を行った。

ケ、高学年組の反省会

低、中学年が就寝した後、高学年組の児童を集め反省会を行った。反省会の内容は、一日の活動を振り返るものとした。

コ、発表会

2日目に宿泊学習中の活動を記録したVTRをもとに、「他のグループに教えてあげる」という設定のもとに、活動の発表会を行った。

### ③第3回宿泊学習

第三回目の宿泊学習は、校外の施設（広島市三滝少年自然の家）を利用しての宿泊学習とした。何度か経験している高学年児童は、過去の経験を生かし活動した。ここでの活動は、学校行事の宿泊をとまなう学習に準じた形で行った。

ア、グループ編成

宿泊グループは、活動（日程表参照）がグループ単位で主体的に行えるよう児童相互の関わりの方に視点をおき構成した。第2回目と同じようにグループ名、グループの旗等を児童に決めさせるようにした。児童から出てきたグループ名は「アンパンマン」と「バイキンマン」である。

イ、係活動

係活動は、施設を利用するために必要な係があり、また5・6年で行う宿泊を伴う学校行事の事前学習の意味も含め、前2回の宿泊学習とは全く違う係を設定した。係名は「班長」「シーツ」「まくらカバー」「ほうふ」「食事」「おふろ」「レクリエーション」である。なお「レクリエーション」は、前回と同じく高学年組が担当することにした。

ウ、活動場所

宿泊場所における活動、部屋割は男女別とし、それぞれのグループで活動できるようにした。

エ、レクリエーション

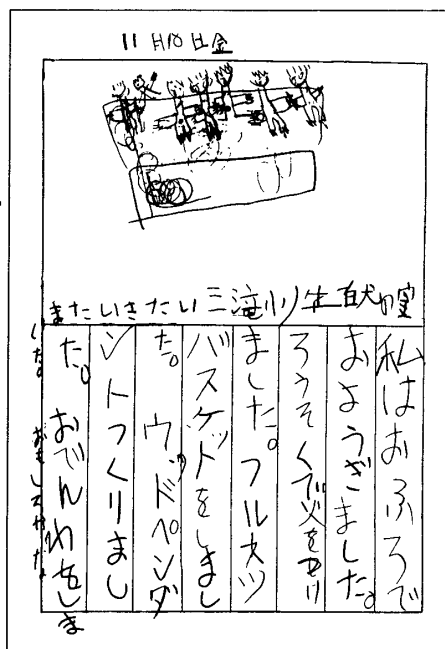
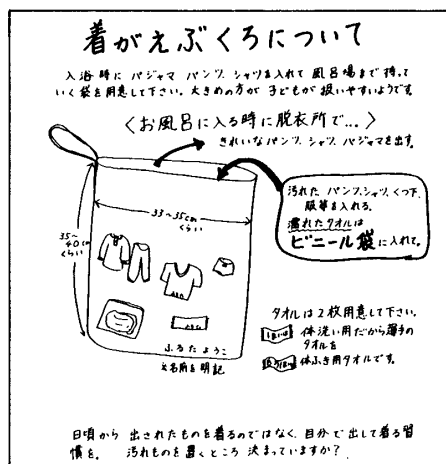
レクリエーションの内容は、第2回目の宿泊学習と同じようにしたが、さらにキャンドルサービスを行い、儀式的なことも加えた。

オ、反省会

反省会では、中・高学年児童がその日を振り返り、日記を書いた。

カ、宿泊ニュース

第1回目と同様活動を振り返り、宿泊学習ニュースを書いた。



(8) 宿泊評価表

学習の後、以下に示すような評価表に児童の様子を記録していった。

年度「宿泊学習」評価表 ( ) (A) 進んでできる (B) 指示などがあればできる (C) 介助があればできる

			月 日	月 日	月 日	課 題
個人目標						
係の仕事						
基 本 的 生 活 習 慣	衣 服	衣服の着脱 衣服の調節				
	排 泄	トイレの使用 時間 手洗い				
	就 寝	静かに寝る 寝起きの時間 寝具の準備・後始末				
	食 事	食べる速さ 食事のマナー 好き嫌い				
	洗 面	洗面 歯磨き タオルの使用				
	入 浴	準備 身体の洗い方 着替えの後始末 入浴のマナー				
	整 理 整 頓	持ち物の整理 衣服の後始末 履物をそろえる 後かたづけ				
	買 物	必要な物と数量 お金の管理				
	健 康	体調を知らせる 健康安全への態度				
	電 話	番号 対応の仕方				
	校 外	交通機関の利用の仕方 公共施設の利用の仕方				
	器 具 調 理	包丁・ガスコンロの扱い 準備・後始末 配膳の準備・配膳 調理の分担 興味・関心				
	意 志 交 換	あいさつ 伝言・意志表示				
集 団 参 加	話し合いへの参加 遊び 集団行動 きまり 役割					
備 考						

### 3. 考察

#### (1) 活動の見通し

宿泊学習では、年3回の活動を行うものの、内容は、ほとんど同じである。この同じことの繰り返しは、高学年になればなるほど定着する。その結果、児童にとっては、次になにをするか。何をしておけばいいかが明確になり、活動しやすくなる。今回も荷物の準備や係の仕事、調理活動など過去の経験をもとに自発的に行動することができた。

活動に見通しがあるため、児童にとっても余裕があり、発展性をもたせることが出来た。今回の学習では、レクリエーションを児童中心に運営させた。こういった新しい取り組みが出来たのも高学年児童にとって「宿泊学習」が過去の経験を通じて十分に理解されていたためであると考えられる。

レクリエーションに関しては、2回、3回と同じ活動をしたが、その結果、低、中学年の児童もしっかりとレクリエーションを楽しめるようになっていった。このような1年間における繰り返しも高学年児童だけではなく、他の児童にとっても有効であった。

#### (2) 児童の主体性

今回の学習では、児童の主体的な活動にしようと、第2、3回目の活動に児童の話し合いによる決定を取り入れた。

グループ名を決定したり、グループ旗を作成したことは、グループの意識を高めるのに非常に有効だった。第2回目のグループ名を決定した際には、「かえるグループ」から自発的に「かえるのうた」の合唱が始まり、グループ歌となった。低学年児童にとっても「〇〇グループ」というのが嬉しかったようで、「先生、ぼく〇〇グループよ」という声が上がってきた。

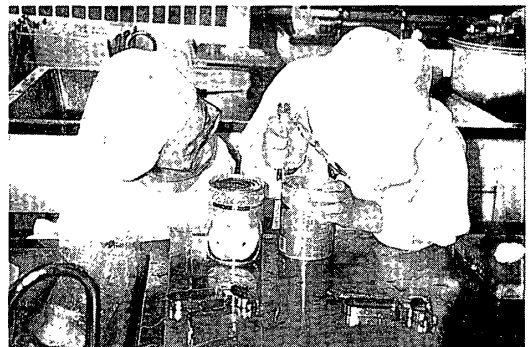
また、話し合いということになると高学年児童中心の活動になりがちであるが、遊びなど具体的に、児童の活動に密着したものを決めさせることで、低学年児童も話し合いに参加することができた。

買物の場所も児童に決定させた。児童からは、他の学習で買物をしたことのある店や、登下校路で見かける店など自分の知っている店を提案した。自分が知っている店に買物に行くことで「私が、おしえてあげる。」等の発言があり、活動に主体的にかかわることができた。

今回、児童にとって非常に具体的な話し合い活動を取り入れたことは、主体的に活動に取り組ませるために有効だったと考える。

#### (3) グループ編成

グループ編成にあたっては、2タイプの課題によるグループ編成を行った。第1回の生活面に着目したグループ編成では、高学年児童が低学年児童に「おしえてあげよう。」としたり、低学年児童が、高学年児童の行動を見て活動がわかったりと、高学年児童が低学年児童のモデルとなり、生活面の指導に重点を置くことができた。このことで、高学年児童の低学年児童に対する意識、リーダー意識が高まった。



〈おにいさんのすることをよく見て〉

第2回のグループ編成では、高学年がリーダーとして活動できるよう児童同士の間関係に着目した。その結果、話し合い活動ができ、それぞれのグループが主体的に活動することができた。

第3回のグループ編成は、第2回と同様のねらいで編成した。しかし、児童の中には、第2回のグループのメンバーが定着しており、混乱する児童も見られた。活動の発展性を考えると、第2・3回は同じグループで活動していくことが必要であった。

#### (4) 評価

児童の評価においては、記述により、評価表の項目を複数の指導者で評価を行った。(資料参照)このことで、個々の課題がより明らかにすることができた。





しかし、課題を次の児童の目標として手だてを考えていく際には、評価項目をより細かな具体的なステップで設定しておく必要があった。


さらに、児童の細かな評価にあたっては、指導者により観点の異なる場合があった。指導をより効果的なものにするためには、複数の指導者間で、細かい個別の手だてを共通確認しておく必要があった。

また、指導者の評価だけでなく、反省会の時間を設定し、宿泊学習ノートに評価表をのせ、自己評価できるようにした反省会で一日のことをしっかり振り返ることで、「できた。」「できた。」と正の評価をするだけでなく、自分なりに「できんかった。」と負の評価をする児童もいた。

また、自己評価できる児童については、次の宿泊での努力目標を自分なりに立てることができていた。

自己評価の際、VTR、写真などを手がかりに活動を振り返ることによって次の宿泊への期待をもたせることができた

できたかな?		
にもつのじゅんびは じぶんでしよう		○ △
あとかたづけは きちんと		○ △
かかりのしごとを がんばろう		○ △
ひとりてからたを あらいます		○ △

 ひとりてきた    ○ たれかといしにできた  
△ してもらった

たのしかったこと

みんなどあふろにはいりました。

#### (5) レクリエーション係

今年度の宿泊学習では、今まで児童が行うものの、その中心は教師であったレクリエーションに関することを係を設定することで、高学年児童に活動の一端を任せた。

これは、高学年児童が宿泊を伴う学校行事を通して係の概要を理解しており、「したい。」という欲求を十分にもっている活動である。ということ、また他の学年の児童も含め学校行事の事前学習として位置づけることができると考えたからである。

2回目、3回目の宿泊学習のレクリエーションをY児が中心となり活動をまとめていった。しかし、2回目の宿泊学習のときは、実際のレクリエーションの運営が初めてだったこともあり、事前に学級(高学年組)で練習しておいた形通りに、また、困った時には教師の働きかけにより進行していった。3回目の宿泊学習では、前回の様子が理解できていたために、基本の活動はあるもののその時々で、臨機応変な活動を展開していくことができた。

係の活動を通して高学年児童の様子を見てみると、Y児にかかわらず他の児童もレクリエーションは何をするか解っているのだが、やり方、方法が解らない。というような様子が見られた。しかし、過去の経験から「やりたい。」という意欲は十分にあり、主体的に取り組んでいった。ゲームの準備、実施と具体的に取り組む過程で活動の様子がわかり、1回目より2回目徐々に児童の判断で活動できるようになっていった。

さらにレクリエーション係をするのは「お兄さん」「おねえさん」という意識があり、学級全体の中でのリーダー意識が高まり、宿泊学習をリードしていった。

低、中学年の児童も「3組(高学年組)になったらレク係ができる。」と期待を持つようになった。


レクリエーション係は、他の学習でも発展を見せ、校外学習におけるバスの中でも高学年組児童がレクリエーション係としてゲームを考え、実施するなど発展を見せた。

レクリエーション係を通して高学年児童の経験が生き、さらに経験の幅が広がり、発展を見せたといえる。

# 宿 泊 学 習

しゅく はく ぎゃく しゅう


三港少年自然の家



と 日 日

NO. 1




## がんばろうね

ひと にもつのじゅんぴは じぶんでしよう 

ふた あとかたづけはきちんと

みっ かけのしごとを がんばろう

よっ ひとりでからだをあらいます

ぼく  
わたしのグループは


グループ

NO. 2

## グループのともだち


NO. 3

いえのてんわばんごう

	—
---	---

## いっしょに いくせんせい



NO. 4

## かかり しごと 係の仕事

かかり	しごと	なまえ
はんちょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• せんせいの はなしを みんなにつたえる。</li> <li>• 朝のつどい のときに 前に でて、たいまうをする。</li> <li>• みんなを ながめさせる。</li> </ul>	
シーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シーツをもらって みんなに くぼる。</li> <li>• シーツを あつめて かえす。</li> </ul>	
まくらカバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まくらカバーを みんなに くぼる。</li> <li>• まくらカバーを あつめて かえす。</li> </ul>	
ほうふ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうふ (かけぶとんのカバー) を みんなに くぼる。</li> <li>• ほうふを あつめて かえす。</li> </ul>	
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テーブルを ふく。</li> <li>• しょうゆと ソースを とって くる。</li> </ul>	
おふろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• せんめんき  と いす  を そうえる。</li> <li>• わすれものを たしかめる。</li> </ul>	
レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャンドルサービスのゲームを きめて、 じゅんびをする。</li> <li>• キャンドルサービスをする。</li> </ul>	

NO.5

## もってくるもの

自分で じゅんびしよう!



バックパックにつめて

パジャマ	シャツ	パンツ
くつした	タオル	はブラシ
たいそうふく	たいそうぼうし	セーター
さいふとおかね	ビニールぶくろ	うわぐつ

NO.6

## もちもの しらべ

あたら O を しましろう。

もちもの	はじめ	おわり
パジャマ		
シャツ		
パンツ		
くつした		
タオル 2枚		
はブラシ		
たいそうふく		
たいそうぼうし		
セーター		
さいふとおかね		
ビニールぶくろ		
うわぐつ		

NO.7

## <ウッドペンダント>

つくりかた

- ① 糸をみかく。
- ② 糸をかく。
- ③ あなにひもをとおしてむすぶ。

どんなえにしようかな...

## <キャンドルサービス>

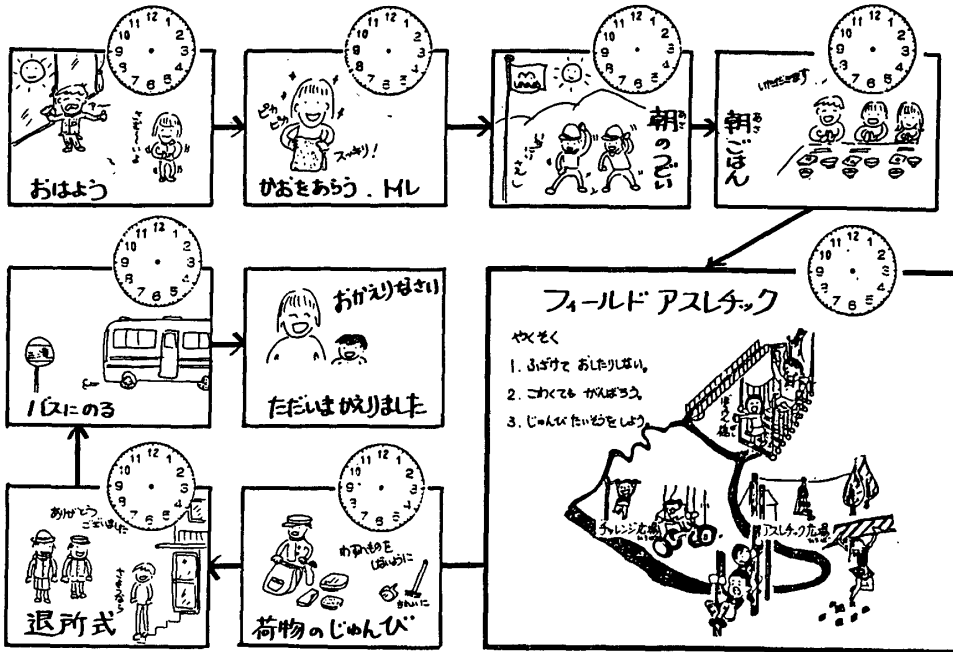
みんなで ろうそくのまわりにあつまって、うた、たり、おどったり、ゲームをしたりします。

<ゲーム>

1. ひのかみさまのあいさつ
2. みんなでうたおう
3. ゲームをしよう
4. みんなで おどろう
5. おわりのうた

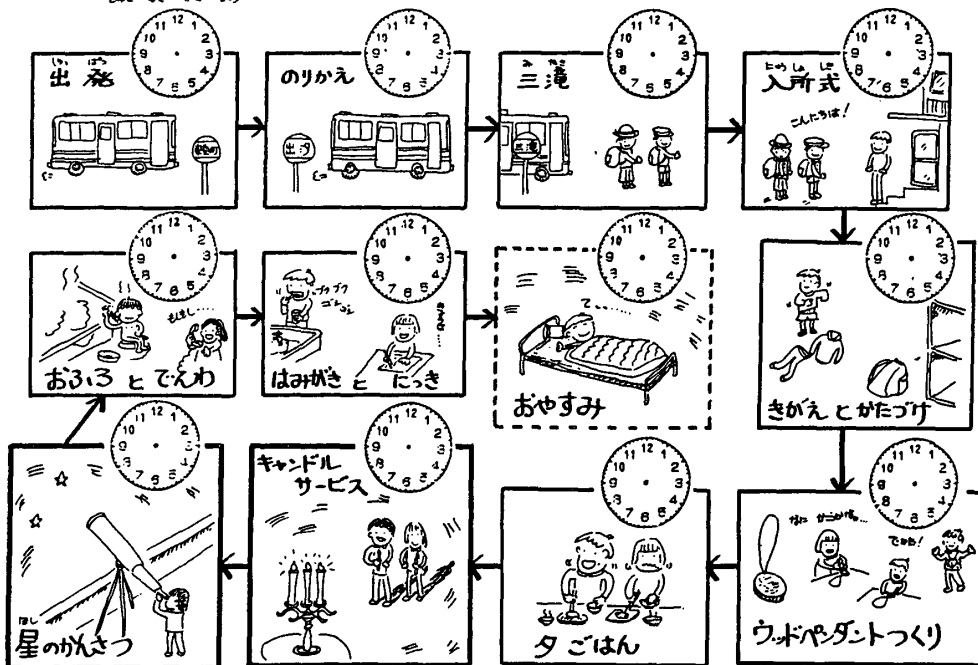
NO.8

宿泊学習 すること (11月9日 土曜日)







NO.9


宿泊学習 すること (11月8日 金曜日)



NO.10

# できたかな？

にもつのじゅんぴは じぶんでしよう	 ○ △
あとかたづけは きちんと	 ○ △
かかりのしごとを がんばろう	 ○ △
ひとりでからだを あらいま	 ○ △

 ひとりでできた    ○ だれかといっしょにできた  
△ してもらった

## たのしかったこと

NO.11

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

NO.12

### 第3回宿泊学習ニュース

バ	っ	り	し	し	の	っ
シ	あ	り	し	た	た	し
ワ	ぶ	ば	た	だ	父	る
ソ	と	し	べ	が	と	で
ド	ん	お	よ	う	お	す
や	を	し	り	に	は	ね
っ	し	に	ま	こ	な	ん
く	ま	は	し	ん	し	あ
り	し	り	た	が	な	を
ま	た	て	は	し	し	が
し	。	す	か	ま	ま	王



11月29日のニュース